

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男) 1 回戦

試 合 日： 2014/08/02
開始時刻： 15:30~
会 場： 船橋市総合体育館
コ ー ト： Bコート
試 合 順： 第5試合(男) 1 回戦

Team A		Team B
日本航空	53	県立川内
(山梨県)		(鹿児島県)

TeamA(日本航空)

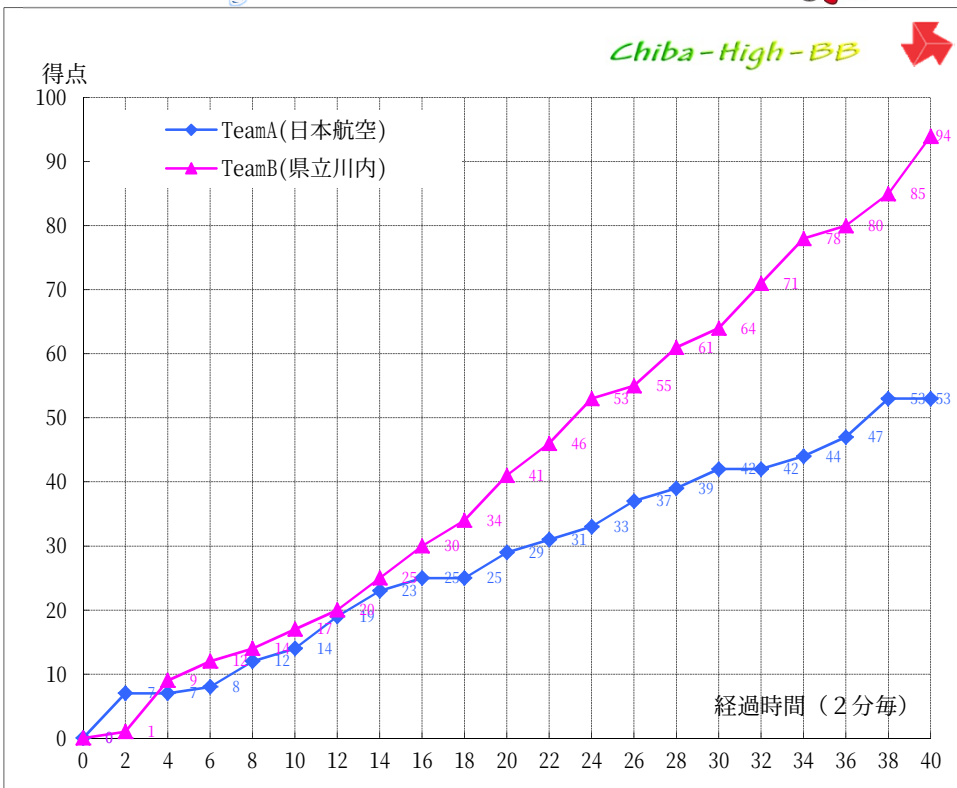
No	PT	選 手 名	得点	3 rd イント	2 nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	北原 旬稀	14	0	5	4	1	0	0	0	3	0	7
5	◎	浅見 玲雄	4	0	2	0	4	1	0	1	3	0	5
6	○	衛藤 誠	2	0	1	0	1	0	2	2	1	0	2
7	◎	水野 義啓	20	2	6	2	2	1	6	7	0	0	2
8	○	日原 紘一郎	3	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0
9	○	渡辺 大士	2	0	0	2	2	1	0	1	2	0	4
10	◎	KHANTUUL BATTSEREN	5	0	2	1	5	3	5	8	0	1	1
11	◎	佐々木 蓮	3	1	0	0	0	1	1	2	2	0	3
12	○	藤原 徹成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	○	木村 大河	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	○	阿比留 怜	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1
15	-	JIANG HUIZHENG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	3	8	11			5
合 計			53	4	16	9	17	11	23	34	12	2	26

TeamB(県立川内)

No	PT	選 手 名	得点	3 rd イント	2 nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4	◎	鎌迫 諒太	15	0	7	1	2	0	2	2	2	0	0
5	○	井上 心	17	3	3	2	1	2	4	6	2	0	5
6	○	岡元 浩亮	1	0	0	1	0	1	1	2	0	0	1
7	○	藤野 隆斗	9	0	4	1	0	2	0	2	0	0	0
8	○	八巻 魁成	2	0	1	0	1	2	2	4	0	0	0
9	◎	土器手 康晴	3	1	0	0	0	2	2	4	4	0	2
10	○	坂元 達哉	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
11	○	福山 雄大	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
12	○	上迫田 智紀	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0
13	◎	堤 昂大	22	3	6	1	0	0	1	1	4	0	1
14	◎	松本 征樹	7	0	3	1	5	1	1	2	5	0	1
15	◎	平野 健斗	14	0	5	4	3	5	6	11	2	1	2
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	5	4	9			0
合 計			94	7	31	11	13	21	24	45	20	2	14

T0/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部

InterHighSchool 2014 in Chiba 02B5



	前半(1・2 nd クォーター)		後半(3・4 th クォーター)		延 1	延 2	延 3	延 4
TeamA	6:00	17:05	22:14	32:35	-			
TeamB	19:42	-	36:55	-	-			

【戦評】
第1 P日本航空はハーフコートゾーンとハーフコートマンツーマン、県立川内は1-2-2オールコートゾーンプレスでゲーム開始。日本航空は# 7を中心に得点、川内は# 1 3のスピードあるドリブルでの速攻を中心に得点した。対する日本航空はフェイスガードして対応するが川内は# 4と# 1 5のインサイドプレイで得点し、1 7対1 4とする。
第2 P、日本航空は# 4の1対1やミドルシュートを中心に攻める。川内は# 4の力強いポストプレイや# 1 5の要所でのリバウンドでリズムをつかむ。日本航空は1-3-1ゾーンや1-2-1-1オールコートゾーンプレスで対応するも川内が確実にボール運び4 1対2 9とリードを広げる。
第3 P、川内は# 5の連続3 pや速攻、# 1 3のドライブでリズムに乗って得点を重ね、全員でのリバウンドやルーズボールで試合の流れを完全につかむ。日本航空は、# 7のシュートで対抗し、2-2-1オールコートゾーンプレスで流れを変えようとするが、川内の勢いが止まらず6 4対4 2となる。
第4 P川内のゾーンプレスゾーンを日本航空は攻めあぐね得点を伸ばせない。川内はスチールからの速攻や# 7のリバウンドシュートで得点を重ね9 4対5 3で勝利した。

審判	名越 龍男 / 太田 俊祐 /	戦評	中田 都
----	-----------------	----	------

千葉県高体連バスケットボール専門部